

「福岡県介護福祉士会 すまっぼん」始めてます！

福岡県介護福祉士会では、昨年10月から、Webアプリ「すまっぼん！」の運用を始めています。

「福岡県介護福祉士会は、公式アプリを作らないのですか？」というお問合せを以前からいただいていた。公式アプリの開発・維持費には高額な費用がかかり、OSのバージョンアップのたびに本会側が内容修正や運用テストをしなくてはならず、制作に二の足を踏んでいました。しかし会員の皆さんになるべく早く最新情報を発信し、つながりを持ち続けたい…そんな思いからアプリではなくアプリ風ホームページ、いわゆるWebアプリを開発することにいたしました。

右QRコードを携帯電話のカメラで読み込んでいただき、案内表示に従ってホーム画面にWebアプリを追加すると、本会の「すまっぼん！」ページが携帯電話のホーム画面に登録されます。



多くの方々に登録していただき、つながりを広げていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

【12月・1月 正副会長の動向】

令和6年12月1日	第1回介護保険事業実施効果検証委員会	令和6年12月25日	ハラスメント防止チラシ配布 (博多駅)
令和6年12月2日	正副会長会	令和6年12月27日	御用納め
令和6年12月4日	日本介護福祉士会 会長会	令和7年1月6日	御用始め
令和6年12月14日	理事会	令和7年1月11日	九州各県情報交換会
令和6年12月16日	福岡市介護実習普及センター運営委員会	令和7年1月27日	福岡県人材確保・参入推進会議
	介護人材確保・定着促進協議会 環境改善・人材育成部会	令和7年1月28日	運営適正化委員会苦情解決小委員会
令和6年12月19日	養成校意見交換会		予算打合せ
令和6年12月24日	運営適正化委員会苦情解決小委員会	令和7年1月30日	福岡県社会福祉審議会 地域福祉計画専門部会
		令和7年1月31日	予算打合せ

事務局からのお知らせ

<継続・会費納入について>

・令和7年度年会費の引落日は令和7(2025)年5月26日です。**会員資格は原則として自動継続**となります。また令和7年度年会費は8,500円です。

・継続会費の納入がまだお済みでない方は早急にお手続きをお願いいたします。ご自身の納入状況や手続きに関してご不明な点は事務局までお問合せください。払込用紙をお持ちでない場合は下記口座へお振込みください。

【振込先】ゆうちょ銀行口座 【口座番号】(記号)17400 (番号)33412801

※他行からの振込の場合・・・(店番)748(店名)七四八(口座番号)3341280

【名義】公益社団法人 福岡県介護福祉士会

【R6年会費】8,500円 ※ご本人様以外の名義でお振込みの場合は事前にご連絡ください。

<会員登録変更・退会について>

・転居先不明で戻ってくる広報が増えていきます。転居や結婚等で「姓」「住所」「電話番号」に変更がある方は、広報等のお届けができなくなりますので、必ず事務局までご連絡ください。日本介護福祉士会ホームページからも手続きができ、自宅以外の勤務先等への送付先変更もできます。住所の変更がなくても奇数月の5日頃になっても届かない場合は事務局へお問合せください。

・**退会される場合には、年度末(令和7年3月31日)までに所定の様式での退会手続きが必要となります**ので、事務局までお問合せください。お電話やメールのご連絡のみでは受付できません。なお、**退会される場合でも令和6年度までの会費の納入が必要です。**

・事務局へのお問合せの際は、お名前と会員番号をお伝えください。会員番号は会員証の他、広報誌の宛名シールに表示しています(40から始まる7桁数)。

福介ニュース

公益社団法人福岡県介護福祉士会(発行元)
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1-1-16-2F
TEL: 092-474-7015 FAX: 092-436-5234
ホームページ: <http://www.f-kaigo.jp>
Eメール: info@f-kaigo.jp

令和7年2月25日発行

No.187

筑豊支部 中野桂子さん

九州地方医療功労賞(第53回医療功労賞九州厚生局長賞) 受賞

厳しい環境のもとで、地域に密着した活動を続けてきた医療・福祉従事者を顕彰する「第53回医療功労賞」の表彰式が、令和7年1月30日、福岡市中央区の西鉄グランドホテルで開かれました。

今回、本会会員(筑豊支部)の中野桂子さんが、長年の災害支援活動が認められ、受賞されました。おめでとうございます。

(中野 桂子さんのコメント)

この度は、推薦いただき有難うございます。諸先輩方の志を引き継ぎ、介護福祉士として災害支援活動を行ってまいりましたが、このような栄誉ある賞を頂けるとは夢にも思いませんでした。

今回の受賞は、私の努力の成果ではなく、職能団体の災害活動が認められた事と、支援に携わった会員の皆様、事務局の皆様のご支援、そしてご協力の賜物です。共に歩んでまいりました会の皆様、同僚の皆様、支えて下さった家族に感謝申し上げます。



本会では、これからも医療功労賞に会員の方を推薦して参ります。お近くに本賞に該当する活動をされている方がいらっしゃいましたらご紹介いただければ幸いです。

※医療功労賞とは…昭和48年に始まり、へき地や離島など、困難な状況のもとで長年地域医療を支えてきた医療・福祉従事者を顕彰する事業です。読売新聞社が主催し、厚生労働省、日本テレビ放送網の後援により毎年継続して実施されています。全国を8ブロックに分け、厚生労働本省と地方厚生局が地方医療功労賞の受賞者を選び、表彰しています。

九州地方医療功労賞 表彰式

主催：読売新聞社 後援：厚生労働本省 九州厚生局 日本テレビ放送網 協賛：JCRファーマ



福岡県介護学会のお知らせについて

福岡県介護学会を以下のように開催致します。
佐伯 美智子氏からの基調講演、皆様ぜひご参加ください。

★開催日時:令和7年3月8日(土)

13:00~16:45(受付 12:30~)

★会場:ふくふくプラザ5階視聴覚室

(福岡市中央区荒戸3-3-39)

★題名:「地域を巻き込む介護の可能性について」

★基調講演の講師:合同会社 MUKU 代表

定時社員総会のお知らせについて

★開催日時:令和7年6月21日(土)

時間未定(午後より)

★会場:クローバープラザ(クローバーホール)

(春日市原町3-1-7)

★開催要綱は4月広報へ同封し、出欠届・委任状は別送予定です。出欠届・委任状のご提出をお忘れなくお願い致します。出欠届け提出の際、個人情報保護シールを希望される方は、4月10日までに事務局へご連絡を宜しくお願い致します。周りの会員さんと声を掛け合って、皆さんで参加を宜しくお願い致します。

★第37回介護福祉士国家試験の開催・概要報告について★

令和7年1月26日(日)に第37回介護福祉士国家試験が開催されました。公益財団法人「社会福祉振興・試験センター」の発表によると、今年度の受験者数は、ここ5年間の推移を見ると年々、減少傾向が見られていたが今年度は、75,387人となり、前年度より792人増加となりました。依然受験者数の低迷が続いており、介護現場で中核を担う介護福祉士の数が減少する事でさらに人材不足が懸念される。

なお、今年度の合格者の発表は、令和7年3月24日(月)である。

(ここ5年間の受験者数および合格者の推移)

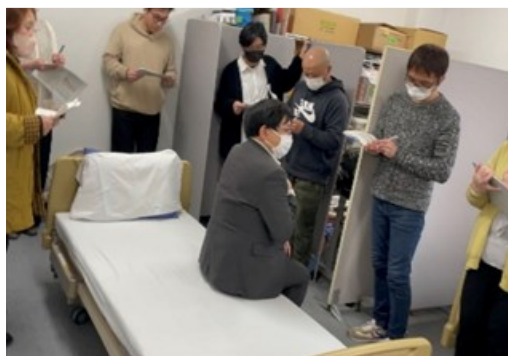
	第33回	第34回	第35回	第36回	第37回
受験者数(人)	84,483	83,082	79,151	74,595	75,387
合格者数(人)	59,975	60,099	66,711	61,747	3月24日発表
合格率(%)	71.0	72.3	84.3	82.8	—

★認定介護福祉士養成研修 科目:生活支援のためのリハビリテーションの知識について

●令和7年1月26日(日)に福岡県介護福祉士会研修室にて、2月16日(日)はケアスタ福岡で開催され、約20名参加されました。

講師として、福岡県理学療法士会 副会長 夫婦石病院 リハビリテーション部 部長 松崎 哲治先生にお越し頂きました。グループワークや実技を含め、リハビリテーションの理念・歴史、ICF の構造や概念、心身の評価とアプローチ方法、四肢・体幹の運動や姿勢の分類を中心に講義をして頂きました。受講者の皆様、熱心に先生の話聞き、研修に取り組んでおられる姿が印象的でした。

●認定介護福祉士養成研修の今後の開催予告としては、令和7年2月末をめどに本会ホームページに掲載いたします。受講を希望される方はホームページに掲載される開催要綱・申込書をダウンロードしてお申込みをお願い致します。



令和6年度 第2回通常理事会 議事録

日時:令和7年2月13日(木) 19:00~20:37

会場:福岡県介護福祉士会 研修室

出席者:江口 賀子会長、小笠原 靖治副会長、小島 香代子副会長、細川 康平副会長

黒木 翔一郎理事(19:35~)、福田 順子理事、首藤 章理事、伊藤 千里理事、甲斐 健吾理事、高橋 なつき理事、織間 修理事、椎葉 文子理事、早井 太一理事、別府 翔太理事、田中 喜美子監事、藤田 ひろみ監事、因 利恵名誉会長

欠席者:鈴木 裕二理事、政野 一也理事、谷口 真貴子理事、福島 雅一理事、山城 裕美理事
議長:江口 賀子会長
議事録署名人:江口 賀子会長、田中 喜美子監事、藤田 ひろみ監事
議事録作成:甲斐 加奈枝事務局 細川康平副会長

I 定数確認と議事録署名人名指

理事 19名中名の出席があり(14名は遅れて参加)理事の過半数の出席を満たしていることが確認され、定款第38条に基づき本会は成立となった。その後定款第42条第2項に基づき、江口会長、田中監事、藤田監事が議事録署名人となることを確認し議事に入った。

II 協議事項

(1)令和7年度計画等

①令和7年度事業計画案

本案について小笠原副会長より資料に沿って説明がおこなわれた。事業内容についてはこれまで同様大きく変更はしていない。

公益法人法の改正に伴い、令和7年度から事業計画の変更が届出事項となる。これにより、実態に即さない計画の変更が容易にできるようになる。本案については全員一致で可決された。

②令和7年度収支予算案

本案について細川副会長より資料に沿って説明がおこなわれた。

本案については全員一致で可決された。

③令和7年度資金調達及び設備投資の見込みについて

公益法人インフォメーションに提出する事業計画に付帯する内容。令和7年度に資金調達や設備投資をする予定がないことを収支予算案を元に確認する。

本案については全員一致で可決された。

④理事、監事の選任

○定数に満たない支部の理事と監事の選出・支部役員等について

選挙管理委員会より次のとおり説明があった。
12月の理事会にて、立候補届の開封結果を報告し、候補者で定数を満たさない支部について理事会からその不足数を補う候補者の推薦について依頼した。監事は、役員改選年次前の理事会において選出し、総会で選任することと定められている。藤田監事・田中監事の継続をお願いしたい。理事・支部役員・地区担当に関しては、12月に理事会承認の通り、支部推薦をしていたいただき、理事予定者での協議を行い、案を提出した。今回、男女比を補うため北九州市支部の理事推薦者・支部役員推薦者の変更をお願いし、本人・支部長への確認を行った。支部推薦理事、監事予定者並びに支部役員予定者全てにおいて全員一致で可決された。地区担当については理事会報告であり、まだ決定していない支部もあるため次回理事会までに報告することを確認した。

選挙管理細則第15条により、推薦された候補者8名を投票によらないで当選者と決定する。これらの理事予定者については、2月20日付のホームページにて公表する。また、理事予定者には役職選考に関する案内を本日付で発送する。支部推薦理事予定者には「決意表明書」の提出を依頼する。また地区担当についても決まり次第、支部長から事務局へ提出することを確認した。公益法人法の改正に伴い、当会が外部理事を選任する必要があるかどうかを確認している。

⑤支部役員・地区担当公募結果

支部役員は理事会議決事項、地区担当は報告事項)
今後、理事予定者間で次期役職者(会長・副会長)を選考し内定する「役職選考会」を行う令和7年3月29日(土)を開催予定。理事予定者の三分の二以上の出席が必要となっている。内定した役職候補者については総会開催直前の理事会で報告されるので内容について確認協議、正式決定と進める。また、会長選出支部は、支部選出理事が不足するため、不足数を理事会から改めて推薦する必要がある。

(2)定款変更案

「社会福祉士及び介護福祉士法」第三条第一号(欠格事項)に合わせるため
第9条(2)成年被後見人、被保佐人又は被補助人になったとき →
(2)心身の故障による介護福祉士の業務を適正に行なうことが出来ない者とし厚生労働省令で定めるもの
定款変更に関わる総会であるため出席者数 2/3 を必要とするため皆様に協力を要請する。

本案については全員一致で可決された。

(3)入会関係(事業所賛助会員)

資料に沿って江口会長より申し込み事業所の説明を行う

同支部担当理事へ事業所情報の共有を行なってもらう。

本案については全員一致で可決された。

(4)筑後支部研修未開催について

早井理事(筑後支部長)より

令和6年度の研修(2研修)について支部内の調整不足による未開催

筑後支部に関しては2月広報にて掲載、年度跨ぎになるが令和7年4月に開催予定の方向(令和7年度に2回開催の予定) → 正副会長からの意見として

今年中止とし、令和7年度に開催を熟慮し開催を進めていく。グループ助成事業の申し込みにより開催を行なってみては。3月正副会長会で承認し、4月~5月で開催予定。

甘木・朝倉地区研修は未開催での終了。来年度に開催を熟慮し開催を進めていく。本案については全員一致で可決された。

(5)その他

卒業式への出席依頼(3/7)

大川看護福祉専門学校 椎葉理事出席予定

平岡学園専門学校 早井理事出席予定

III 報告事項

(1)事業進捗状況

福岡介護学会 基調講演:作業療法士 合同会社 MUKU 佐伯美智子氏

介護福祉士実務者研修 5名中4名終了

福岡県認知症介護実践者研修 54名終了

講師養成研修(3日目フォローアップ) 申し込み25名(2名)

認定介護福祉士養成研修 リハビリテーション領域終了

ファーストステップ研修 16名受講中

外国人介護福祉士との交流会 9名の参加(付添1名)

○補助・委託事業

補助事業:地域住民向け介護体験講座 修了

(2)国の動き

第116回社会保険審議会介護保険部会

12月23(月)厚生労働省ホームページ参照

(3)日介の動き

①黒木常任理事より

日本介護福祉士会認証マーク事業の報告

「おはよう」連載 日本介護福祉士会 酒井常任理事 吉岡常任理事

年会費の領収時期の切り替え

タウンミーティングの開催についての説明を行なう。

九州ブロック正副会長、理事、事務局会議 次年度福岡県にて開催予定(12月) 特定費用準備資金の使用の可能性を説明、必要があれば再度理事会へ協議にかける

(4)その他報告事項(正副会長協議済み)

①受講生都合の受講料返金

②認定審査委員会への文書

③粕屋医師会への委員推薦任期切れに対する医院の推薦

④年会費未納会員の講師起用

⑤市町等委員会委員推薦における役員登用

⑥公益法人の改正 制度改革

令和7年度からの公益法人法の改正により、収支償償が、中期的収支均衡の期間(5年)、判定方法に変更となる、黒字は5年間で解消(過去2年間の赤字と通算可)。公益目的事業全体で収支均衡判定する。

特定費用準備資金が公益充実資金となる。これにより複数目的のための一つの資金として管理できるようになる。

行政手続の簡素化・合理化により事業計画の変更は届出事項となる。

前述の外部理事は、法人の自律的ガバナンスの強化を目的として選任が求められる場合がある。

(5)市町村等委員会報告

察からの問い合わせ(参考意見聴取) 事案が発生してきている

介護のルールの基づいて行なわれている行為であるのかの確認が行なわれている

その他:

1) 早井理事より災害時のBCPについて

現在市町より求められているBCPについて、職能団体としての意見を述べる機会が無いのか、と提議があった。

施設系サービスと違い、居宅サービスについては、災害時にはサービスを停止する事や現状として実施することは難しい。そのため、一応作らないといけないため、形骸化する可能性がある。

1 これに対して、デイサービス・訪問看護系からも同様な意見があがった
2 しかしながら、災害が起きた場合の実際の影響を踏まえた(現実的な)マニュアルへ移行できるようにする必要があり、形骸化ではないものが必要ではないか。との意見が出された。

今後、介護福祉士会として、居宅事業についての、BCPへの要件の緩和、行政側との連携、対応が必要ではないか。また、進めるために災害対策の研修などにより研修の実施が必要ではないか等々、との意見があがり、結論は出なかったが、行政への確認を行うことが必要。

2) 伊藤理事より

北九州市の施設にて、以前作成されたポスター等が未だに掲示されていた。

介護福祉士会の住所等が異なっており、掲示をはがしていただいた。

他の市町であった場合は、掲示をしないようにお願いする。

IV その他

(ア)次回理事会 5月16日(金) 19:00~

令和6年度事業報告案、決算報告案 等

以上